

# 平成24年度事業計画

一般財団法人休暇村協会

## I. 基本方針

東日本大震災及びそれによって引き起こされた福島原発事故は、地域社会のみならず日本全体に甚大な被害を及ぼし、人々の消費行動にも大きな影響を与えています。現今の世界的な経済情勢の不安定さも加わって、経営環境は引き続き不透明な状況が続くものと思われます。

旅行需要は回復傾向にあり、各村においても概ね同様の傾向にありますが、大震災前の水準には程遠く、また立地条件等の事情によってその状況は大きく異なっています。今後の見通しも予断を許さない厳しい状況にあります。

こうした状況の中、当協会では新たな公益法人制度に対応し、平成24年4月に一般財団法人へ移行します。当協会としてはこれを契機に、更に積極的な利用の拡大と費用の削減に取り組み、財務体質の強化を図るとともに、新たな可能性の追求と飛躍の礎を築いていくものとします。

平成24年度は、大規模災害への備えの更なる強化を図るとともに、所在地域から支持される休暇村を目指すこととします。大震災後、被災者・避難者の受入れや復興関連の活動などにおいて、地域との連携・協力の重要性を再認識しました。さらに、遠隔地からの利用者が激減した状況の中で、地元の人々の利用に支えられた経験を踏まえ、これまでも増して地域を重視した営業を展開します。

また、休暇村事業の要である自然とのふれあい事業についても、引き続き積極的に推進します。

国民の自然志向や健康志向は根強く、滞在型の利用も増加しており、休暇村事業の理念はますます重要性を増すものと思われます。利用者のニーズを敏感に捉え、新しい取組みによって幅広いニーズに対応し、利用の拡大を図ってまいります。

## II. 具体的方針

### 1. 一般財団法人としての事業の推進

当協会は、平成24年3月中に内閣総理大臣より認可を得て、4月1日に一般財団法人へ移行します。

移行後は、新定款に即した業務運営を徹底するとともに、一般財団法人にふさわしい財務体質の実現と成長事業の強化に取り組みます。

## 2. 地域重視の営業及び地域貢献

平成24年度は、改めて地域との関わりを重視する方針を明確にし、所在市町村はもとより、所在道県における利用性と経済効果の両面で、休暇村の存在感の一層の強化に努めます。

地域の人々の利用を基盤として、更に休暇村のネットワークを活かした国内各地や海外からの利用客の誘致により、地域発展に寄与していきます。

### (1) 地域重視の企画

地域重視の企画の充実を図ります。地域内の文化、歴史、産物、産業などに改めて着目し、地域内の人々の興味と利用を掘り起こす企画をつくります。

### (2) 地域向けの情報発信

地域内に向けて、きめ細かな情報発信を行い、地域の人々への様々な優遇企画を設定します。

### (3) 地域製品の活用

料理の提供においては地産地消の取組みを更に推進し、生鮮食材や加工品など地域製品の活用を拡大します。また売店部門についても、地域の名産品などの重点販売に努めます。

### (4) 雇用の確保

従業員の採用にあたっては、地域からの雇用を優先的に行うよう努めます。また、障がい者及び高齢者の雇用促進に積極的に取り組みます。

### (5) 各村の活動を通じた地域貢献

次の各分野においても地域貢献に取り組みます。

- ① 休暇村の施設・マンパワーを活用した社会奉仕活動の推進
- ② 地域おこしへの協力
- ③ 地域への施設開放
- ④ 環境イベントや地域振興関連組織への参加協力
- ⑤ 地域で開催される社会活動などへの参加協力

(別紙1「平成24年度地域貢献計画(抜粋)」参照)

### (6) 従業員による社会貢献の促進

従業員の自主的な社会貢献活動を支援します。

### 3. 安全対策

#### (1) 施設点検の強化

各施設の日常点検をこまめに行い、利用者の安全確保に努めます。毎月10日の全村一斉安全点検の日には、宿泊施設のみならず管理区域全般の念入りな点検を行います。

レジオネラ属菌感染防止対策をはじめとする衛生管理への取組みについては、平成24年1月に策定した「休暇村施設の衛生管理マニュアル」に基づき、設備の日々の管理、定期的なメンテナンス及び検査を徹底し、事故防止に万全を期します。

#### (2) 事故防止のための研修・訓練の強化

食中毒、交通事故、火災、その他あらゆる事故防止のため、関係機関の指導協力を得て研修・訓練を実施し、従業員の意識強化及び技能向上に努めます。

全宿泊施設に配備しているAED（自動体外式除細動器）については、PAD（一般市民も活用できるAED）としての意義も踏まえ、従業員への使用方法の周知及び緊急時の適切な対応に努めます。

#### (3) 大規模災害に備えた体制の強化

東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害発生時の初期段階において適切かつ自律的に行動できるよう、次の各項目について体制の強化に取り組みます。

- ① 大規模災害を想定した防災・避難計画の見直し及び消防訓練の確実な実施
- ② 広域避難場所及び経路の確認並びに地域との連携の確保
- ③ 伝言ダイヤルの組織的活用等緊急連絡方法の見直し

### 4. 自然とのふれあい事業

国立公園・国定公園における自然とのふれあい促進を図るため、関係機関や各地域の諸団体と幅広く連携を深め、立地環境を活かした事業展開を図ります。

#### (1) 自然ふれあい等推進事業

新法人移行に伴い、公益目的支出計画に基づき「自然ふれあい等推進事業」を実施します。

平成24年度は「ふれあいプログラム研修」を実施し、事業の目的を改めて徹底するとともに、知識・技能の向上を図ります。また、ふれあいプログラムの企画・実施にあたっては、自然とのふれあい事業としての趣旨をより明確に表現するよう努めます。

(別紙2「平成24年度自然ふれあい等推進事業実施計画（抜粋）」参照)

全村に共通するプログラムとしては、次の取組みを実施します。

① ワンダリング Nature プロジェクト

ロビー等のパブリックスペースに、自然公園のインフォメーション機能を持つ「ワンダリング Nature コーナー」を設置し、自然に対する親近感を高めるとともに、長期滞在をより有意義にするような環境整備をハード・ソフト両面から推進します。

具体的には、「BOOKテラス（図書コーナーの充実）」「自然公園コミュニケーションボード」「大型液晶モニター」を導入します。

② フィールドを活用したふれあいプログラム

朝のお散歩会や夜の星空観察、ホテル観察等、休暇村や休暇村周辺のフィールドを活用したプログラムの充実を図り、自然環境に対する関心を高めるようなプログラムを実施します。

③ 天候に左右されないふれあいプログラム

パブリックスペースにクラフトコーナーを設け、屋内でも自然とのふれあいが体験できるプログラムを実施します。屋内のふれあいプログラムは、雨天時等の代替プログラムとしても活用します。

④ 「自然とのふれあい写真コンテスト」

国立公園・国定公園における「自然とのふれあい」をテーマとした写真コンテストを主催します。

## （2）自然環境を活用した企画等

お客様に休暇村の魅力をアピールし利用の拡大を図るために、自然環境を活用した宿泊プランや環境学習プログラムを推進します。

① 自然環境を活かした宿泊プラン

手軽で快適にキャンプを体験できる「手ぶらでキャンプパック」や、「手ぶらでスキー」、「雪遊びファミリープラン」、「登山応援プラン」等、自然環境を活かした宿泊プランを充実させます。

② 写真教室やエコツアー

「プロと楽しむ自然とのふれあい写真教室」や自然観察ガイドが案内するエコツアー等、旅行業の登録をしている休暇村だからこそ可能なツアーを実施します。

③ 環境学習旅行

小中学校における環境教育を支援するため、国立公園・国定公園における環境教育の拠点を提供するとともに、各村において特色ある環境学習プログラムの開発・紹介に努めます。

## （3）環境省主唱行事等への協力

① 環境省が主唱する「みどりの月間」、「環境月間」、「自然に親しむ運動」の各行事に呼応し、各村で様々なプログラムを開発し、休暇村利用者のみならず広

く一般にも参加を呼びかけます。

また、田貫湖ふれあい自然塾や各地ビジターセンターと協力し、自然とのふれあいの機会を積極的に提供します。

- ② 林野庁等が主催する「森林（もり）の市」に出展し、自然とのふれあいイベントを実施します。
- ③ その他関係団体が主催する行事への参加協力を通じて、自然とのふれあい推進に積極的に取り組みます。

## 5. 利用促進の取組み

会員制度を中心とした顧客や新規客層の利用促進について、更に取り組みを強化します。また、高齢者や障がい者をはじめどなたにも安心して利用いただくため、施設の改修やサービス介助士有資格者の配置など、ハード・ソフトの両面からバリアフリー化に取り組めます。

### （1）会員制度の活用による顧客の拡大

50歳以上の中高齢者の旅行支援を目的とした「Qカード会員」と、18歳以上のインターネット世代・モバイル世代を対象とした会員組織「モバイルQ会員（通称：モバQ会員）」の両会員数の拡大と利用促進を図り、経営基盤の強化を図ります。

### （2）新規客層の獲得

インターネットや雑誌等の有料広告の活用、他企業等の会員組織との優待契約やタイアップを進め、新規客層の獲得を図ります。

また、東日本大震災の影響で利用が低迷している訪日外国人観光客の誘致及び受入れについては、中長期的視野から受入れの回復を図ります。

### （3）インターネット予約の拡大

公式ホームページのPCサイト、携帯サイト、スマートフォンサイトの充実を図るとともに、インターネット予約開始時期を、従来の3か月前から5か月前に見直します。

### （4）長期滞在企画の充実

利用者が増加傾向にある滞在型企画の販売を強化するとともに、滞在期間中に活用できるプログラムや情報の整備を行います。

### （5）広報活動

休暇村事業及び所在する地域に関する情報を、マスコミや関係団体に対し積極的に提供します。

## (6) 障がい者の受入促進

障がい者割引制度を活用し、障がい者の受入れを積極的に推進します。

## 6. サービスの向上

利用者の満足度を更に高めるため、サービスレベルの管理を徹底するとともに、利用環境の安全性・快適性の維持向上に取り組みます。

### (1) 応接サービスの向上

社内のマイスター制度で認定した「サービス」、「ふれあいプログラム」、「フード」、「観光」、「環境」の各マイスターを中心に、「心に残るサービス」をスローガンとして、全従業員でサービス向上に取り組みます。

利用者に「驚き」と「感動」を感じてもらえるよう、利用者の立場にたったサービスを提供します。

各村において応接サービス研修を実施するとともに、休暇村支笏湖に設置しているサービススクールでは、各村から選抜された従業員の研修を実施します。

### (2) 食事サービスの向上

地産地消を柱に、各地方で育まれてきた食材や料理方法、新たな特産品に光を当て、地域の食文化を織り込んだ料理の開発・提供を推進します。

また、食の安全・安心に対する意識の共有を継続し、使用する食材の選択や調理及び提供の方法については細心の注意を払います。

### (3) アンケートと口コミの活用

休暇村で実施する利用者へのアンケートとともに、営業収益に直結するネットエージェントの口コミ評価で、全項目4.0以上を目標とし、より高いレベルのサービスを目指します。

### (4) 禁煙化の取組み

パブリックスペースについては、禁煙を原則とするとともに、喫煙者のため喫煙室を整備します。客室については禁煙タイプを8割以上確保します。

また、一部の休暇村においては、全客室禁煙を実現します。

### (5) 客室サービスの向上

日常の清掃管理や修繕をきめ細かに実施し、快適な空間の提供に努めます。

### (6) インターネット接続環境の提供

スマートフォンやiPad等タブレットPCの普及に伴うインターネット接続環境への需要に対応するため、公衆無線LANの提供を全村において標準サービス

にするとともに、お客様閲覧用パソコンの設置を推進します。

## 7. 環境保全の取組み

「休暇村の環境保全に関する基本理念」を踏まえ、次のように取り組みます。

### (1) 行動指針

休暇村の全般的な行動指針として、グリーン購入ネットワーク(GPN)による「ホテル・旅館エコチャレンジ・チェックリスト」に準じた取組みを強化します。

### (2) 重点項目

全村統一の重点項目は次の3点とし、取り組みます。

- ① 食品リサイクル法に基づき、発生抑制と再生利用による廃棄物削減に努め、再生利用等(目標実施率30%)を推進します。
- ② 省エネ法、温暖化対策法の改正法による指導強化を踏まえ、エネルギー使用量の把握を継続し、CO<sub>2</sub>排出量を計算して、原単位前年度比1%の低減を目標とします。
- ③ グリーン購入法に適合する物品の購入を拡充するとともに、取引先への協力要請を行います。

## 8. コンプライアンスの確保

法令遵守及び社会規範遵守の重要性の認識を徹底し、営業・総務・経理など業務全般にわたって点検を進めます。

## 9. 人材の育成及び福利厚生・就労環境の充実

### (1) 従業員の資質向上

従業員の資質向上のため、営業サービスやふれあいプログラム、総務経理、調理技能、施設管理などに関する研修を実施します。また、同和問題をはじめとする人権問題や環境問題に関する研修にも積極的に取り組み、休暇村従業員としてふさわしい人材の育成に努めます。

休暇村支笏湖に設置しているサービススクールを、基幹研修機関として引き続き積極的に活用し、全村のサービスレベルの向上と平準化に取り組みます。平成24年度は、研修参加者への総合的な支援体制の構築に重点を置き、サービススクール、研修参加者所属村及び本部が一体となってこれを推進します。

## (2) 就労環境の充実

改正労働基準法（平成22年4月施行）の趣旨に則り、過重労働による健康障害の防止及びワークライフバランスの推進に積極的に取り組めます。

引き続き、時間外労働時間数の抑制及び所定休日数の確保に重点を置き、業務の効率化及び適切な人員配置を推進します。

## 平成24年度 地域貢献計画 (抜粋)

休暇村名	活動名	活動内容
支笏湖	支笏湖温泉旅館組合	事務局を担当、広報・誘客・各団体との調整を実施
	ゴミ拾いトレッキングin樽前山	観光資源保護のため、樽前山のゴミ拾いを実施
岩手網張温泉	雫石観光事業	しずくいし観光協会副理事長として事業推進に協力
	いわて夏まつりイン小岩井	観光協会の小岩井農場でのイベントの実施、PRに協力
陸中宮古	宮古観光協会	理事として宮古市の観光推進活動へ参加協力
	被災地学習	中の浜キャンプ場と田老地区の津波被災の見学と語り部会
乳頭温泉郷	乳頭温泉組合	組合長・事務局として広報活動・行事・安全対策等を推進
	ブナの森コンサート	乳頭周辺のブナ林の自然を楽しむイベントと有志団体コンサート
気仙沼大島	仮設住宅自治会支援	休暇村仮設住宅自治会との交流支援、一部施設の開放
	復興応援新聞発行	大島観光復興の観点から各団体と共同で広報誌を作成、リリース
羽黒	羽黒町観光協会	理事として参加し、観光振興への提案協力を実施
	羽黒山五重塔ご案内	市と協力し五重塔までの観光ガイドを毎日交代で実施
裏磐梯	職場体験受入れ	地元中学生、高校生の職場体験の受入れ
	有機肥料配布	処理機で生成した肥料を農家へ配布、産物を料理提供
那須	「なすべん」PR	なすとらん倶楽部に参加し地元農産物を使った昼食を開発
	那須平成の森	フィールドセンターと協力して環境教育プログラムを実施
日光湯元	日光自然ガイド連絡会	自然ガイド関係者との情報交換やイベントを実施
	オオハンゴンソウ除去作業	帰化植物の除去作業参加
鹿沢高原	インフォメーションセンター	事務局としてパークボランティアと協力し環境保全・イベント実施
	レンゲツツジ保全活動	湯の丸高原「レンゲツツジ」の保全活動
館山	館山ブランド推進協議会	地域グルメ商品の共同開発・販売PR活動実施
	地産地消推進事業	市・観光協会が取り組む活動の中心メンバーとして参加
妙高	妙高エコトレッキング	市環境生活課と連携し参加・PR
	笹ヶ峰自然教室	ビジターセンター自然観察会や市主催イベントへの積極的協力
乗鞍高原	乗鞍天空マラソン	休暇村提案で始まった大会、準備、運営に協力
	のりくら観光協会	委員として意見を述べると共に、外部広報に協力
南伊豆	弓ヶ浜海岸清掃	所属地区などと協力して清掃美化活動を実施
	タライ岬ウォーク	ボランティアガイドと協力し遊歩道ウォーキングを実施
富士	富士山西麓会	事務局として観光関係者の地域振興活動の取りまとめ担当
	田貫湖祭り(夏・秋)	自然塾と周辺団体主催イベントへの協力
伊良湖	渥美半島観光ビューロー	本部員(理事)として運営やイベントに協力
	西ノ浜530運動	地域のボランティア団体と協力し、海岸の清掃実施
茶臼山高原	テーブルマナー教室	地元中学生を対象にマナー教室を実施
	豊根村ブランド協議会	地域グルメ及び特産品開発による地域振興へ参加

休暇村名	活動名	活動内容
能登千里浜	羽咋市観光協会	副会長として活動。宣伝委員会委員長を兼務
	グリーンツーリズム研究会	石川県中能登支部会事務局補佐として活動
越前三国	越前坂井うらの極味膳	商工会推進の坂井市オリジナルご当地膳の開発と販売
	カニ殻リサイクル事業	カニ殻を農家が回収し、肥料として利用、産物を料理提供
近江八幡	地産地消の推進	生ゴミ提供による肥料化と地元農産物の利用
	湖岸清掃とシジミ狩り	琵琶湖宮ヶ浜の清掃活動とシジミ狩り体験の実施
南淡路	うずしおの郷協議会	福良地区観光資源のPR活動実施
	おもてなし事業	南あわじ商工会のプログラム企画に参画
竹野海岸	竹野海岸を美しくする会	竹野海岸の美化活動に参加協力
	コウノトリ共生事業	市の事業に参加し、紙芝居実演等独自のイベントを実施
紀州加太	みやま会クリーン作戦	地区全体の清掃活動の運営に協力
	グラウンドゴルフ大会	地元在住の親子3代スポーツの企画、運営協力
南紀勝浦	地元集落のPR事業	色川地区農家とタイアップし、農産物のPRを実施
	那智山曼荼羅絵解き	地元ガイドの会と提携しロビーイベントとして実施
奥大山	スノーシュー自然観察会	環境省とタイアップし、自然観察会を実施
	奥大山ブランド推進	江府町が推進する「奥大山」ブランドのPR
蒜山高原	蒜山エコツーリズム推進事業	真庭市事業への協力とPRの実施
	ひるぜん焼そばすいとん会	地域観光PRへの協力や広報活動の実施
大久野島	竹原市観光協会	理事、総務委員会副委員長として参加協力
	竹原産キャンベル商品販売	地元『たけはらキャンベル商品』の積極的な販売協力
吾妻山ロッジ	比和町観光資源の再発掘	比和の観光資源の発掘とPRを実施
	吾妻山グリーンラリー	遊歩道利用を通じた自然教育を実施
帝釈峡	帝釈峡クリーン&ハイク	上帝釈峡・神龍湖のハイキングと清掃活動を実施
	職場体験受入れ	職場体験実施施設として地元中学生の受入れを実施
讃岐五色台	五色台自然楽校	周辺フィールドを活用した自然観察会やクラフト教室を実施
	五色台クリーンハイキング	地元ボランティアと協力した清掃活動を実施
瀬戸内東予	手漉き和紙のハガキ作り	地元の伝統産業の体験プログラム実施による普及促進
	手話講習会	スタッフによる利用者への初級講習会を実施
志賀島	地元農産物の販売促進	地元農場でニューサマーオレンジ狩りを実施
	あじさい植樹祭	地元小学校と協力して地区内の植樹運動を実施
雲仙	星空観察会	地元住民向け観察会を諏訪の池ビジターセンターで実施
	雲仙マルシェ	レストハウスの一部を地元農産物の直売所として提供
南阿蘇	高森町観光協会	副会長を務め、行事实施運営と行政・議会との調整を担当
	はなしのぶコンサート	阿蘇の野の花に捧げる音楽祭、事務局を担当
指宿	指宿グランドゴルフ大会	地元GG協会にグランドを提供し、運営に協力
	知林ヶ島管理運営協議会	委員として知林ヶ島の利用促進と管理に参加

## 平成24年度 自然ふれあい等推進事業実施計画 (抜粋)

休暇村名	企画名	企画内容
支笏湖	紋別岳ハイキング	支笏湖周辺の山々を一望できる紋別岳への登山
	落ち葉で切り絵作り	支笏湖畔で見つけた素材で切り絵を作る
岩手網張温泉	野鳥のペーパークラフト	様々な野鳥を紙で作る
	木のキーホルダー作り	園地の間伐材を使ったキーホルダー作り
陸中宮古	陸中海岸公園スライドショー	陸中海岸の自然をスライドで紹介
	エコボトル作り	好きな絵を描いてオリジナルのエコボトルを作る
乳頭温泉郷	駒ヶ岳観察会	秋田駒ヶ岳の散策、野草観察会
	秋田の昔っこ「語り部の夜」	方言を交えた秋田の昔話を語り部が語る
気仙沼大島	島内ウォーキング	亀山や天然記念物の十八鳴浜を散策
	ホタテ貝絵付け	ホタテの貝殻に好きな柄をペイント
羽黒	羽黒山石段ウォーキング	表参道の2446段の石段をウォーキング
	早朝参拝	早朝の三神合祭殿を訪ね、朝の神事を見学・参拝
裏磐梯	磐梯山噴火記念館講演会	講師による磐梯山噴火の講演
	ホテル観察会	休暇村キャンプ場でのホテル観察
那須	八幡ツツジ散策	国の天然記念物、八幡ツツジ群落周辺を散策
	スノーシュー散策	休暇村周辺で実施するスノーシュー体験
日光湯元	星座観察	三本松付近で実施する星あかり観察イベント
	ロビーコンサート	地元音楽家による演奏会
鹿沢高原	村上山ハイキング	休暇村横手にある村上山への軽登山
	池の平湿原散策	年間約1000種の高原植物が咲く雲上の湿原を訪ねる
館山	空豆収穫体験	休暇村農園で空豆を収穫
	星座説明・観察会	天球館での星座説明、屋外での星座観察など
妙高	唐辛子の雪さらし体験	郷土の香辛料「かんずり」の作成過程を体験
	ダッチオープン料理作り	笹ヶ峰キャンプ場でダッチオープン料理を体験
乗鞍高原	おやき作り体験	信州の郷土料理、おやきの手作り体験
	乗鞍高原トレッキング	善五郎の滝、一の瀬園地を目指す高原トレッキング
南伊豆	磯の生物観察会	休暇村周辺の磯で生物観察
	松ぼっくりツリー製作	松ぼっくりを使ったクラフト
富士	ホテルウォッチング	田貫湖畔のホテル観察スポットで実施
	富士花鳥園ガイド	花と鳥に出会える富士花鳥園を訪ねる
伊良湖	夕日のお散歩会	三河湾に沈む夕日を見に行く約1kmの散策
	革の動物作り	牛革で好きな動物を作るクラフト
茶臼山高原	茶臼山ウォークラリー	茶臼山に登りながらクイズや自然観察を楽しむ
	スノーイルミネーション	雪とキャンドルでイルミネーションを作る

休暇村名	企画名	企画内容
能登千里浜	ロビーコンサート	琴やコーラスのロビーコンサート
	天文台レクリエーション	UFOの町・羽咋の紹介、休暇村天文台で天体観測
越前三国	風鈴の絵付け	オリジナルの風鈴作り体験
	そば打ち	名物「越前そば」のそば打ち体験
近江八幡	夕涼みクルージング	夏期、夕方に実施する琵琶湖クルーズ
	近江歴史秘話体験	外部講師による近江の歴史講話
南淡路	スターウォッチング	星のソムリエによる星空案内・観察会
	ウミホテル観察会	ウミホテルの生態解説
竹野海岸	夕方せり見学	全国でも珍しい夕方のせりを竹野漁港で見学
	秋鮭を見に行こう	産卵の為、竹野川に上ってくる鮭の観察
紀州加太	水茄子狩り体験	夏期に採れる水茄子の収穫体験
	友ヶ島散策	歴史あふれる友ヶ島で約4kmのハイキング
南紀勝浦	ザリガニ釣堀	夏期限定で実施するザリガニ釣り体験
	まぐろ競り市見学	まぐろの町、勝浦で競りを間近に見学
奥大山	カタクリウォーク	カタクリの花を探すウォーキング
	ホテル観賞会	初夏、スタッフがホテル鑑賞スポットへ案内
蒜山高原	アイス作り体験	ジャージー牛の牛乳と生クリームでアイス作り
	スノーシュー体験	冬の蒜山高原をスノーシューで散策
大久野島	大久野島歴史散策	島内に残る戦争の遺跡を巡るウォーキング
	竹和紙作り体験	竹原市の竹を使用した竹和紙作り体験
吾妻山ロッジ	地域の歴史・文化にふれる	りんご畑案内や、郷土料理教室を実施
	自然と遊ぼう	クワガタ、野鳥、ホテルなど生き物の観察会
帝釈峡	季節の花観賞会	春を告げる花、節分草を探しに行く
	土鈴の絵付け	東城町の民芸品「土鈴」の絵付け体験
讃岐五色台	うどん道場	本格的なうどん打ちを体験
	プチ遍路体験	82番根香寺から81番白峰寺までの「歩き遍路」
瀬戸内東予	ウミホテル観察会	ロビーにてウミホテルの発光鑑賞
	今治タオル体操	外部講師による今治タオルを使った体操
志賀島	サザエデコレーション	サザエの殻をスプレーやビーズで飾りつける
	夜景を眺める会	夜景スポットの潮見展望台へ案内
雲仙	星空観察会	屈折式大型展望鏡を使って惑星や星雲を観察
	草木染め	オリジナルの草木染めを作る
南阿蘇	らくだ山と草原散策	休暇村裏にある「らくだ山」を散策
	東外輪山清栄山トレッキング	九州自然学習歩道を歩き、清栄山を目指す
指宿	いぶすき探訪	指宿の自然・歴史を外部講師とともに巡る
	フラダンス教室	地元のダンスサークルによるフラダンス教室